

# 第 6 章

---

## 計画の推進



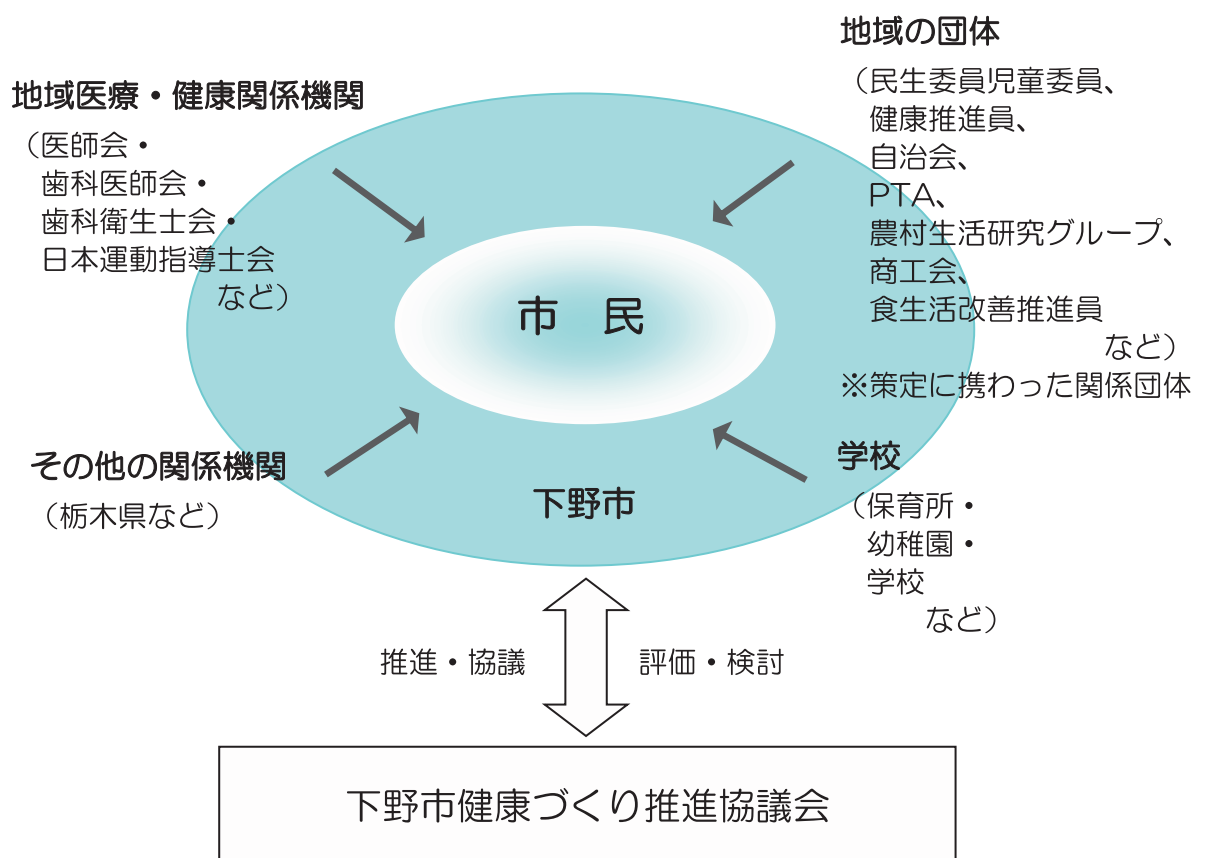


## 2. 計画の推進体制

本計画を推進するにあたり、市民を取り巻く健康関係機関や地域の各団体、関係各課との連携のもと、事業実績の把握・分析、事業の推進方策について検討を行います。

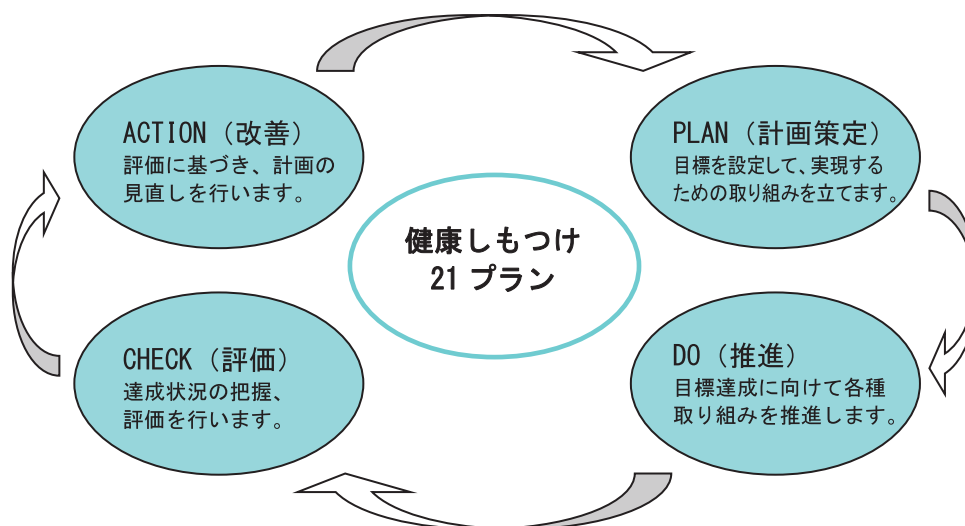
さらに、市民、健康関係機関、地域の各団体等で構成される「下野市健康づくり推進協議会」において、本計画の評価や進行管理等を行っていきます。

「健康しもつけ21プラン」推進体制



### 3. 計画の進行管理

計画の実現のためには、計画に即した事業がスムーズに実施されるよう管理するとともに、取り組みの進捗状況評価表を基に計画の進捗状況について把握し、実施状況及び成果を点検・評価していく必要があります。このため、下記のとおり進行管理を行い、計画的に事業を推進していきます。



#### (1) 評価回数

効果的なお効率的に取り組みを推進するために、PDCAサイクルを活用し、「健康づくり推進協議会」に進行管理の機能を位置付け、毎年度1回、前年度の点検・評価を行います。

#### (2) 内容

取り組みの進捗状況・評価表を基に事業内容、実績などを確認し、評価を行います。

#### (3) 評価基準

取り組みの進捗状況・評価表を基に事業内容、実績などを確認し、評価を行います。

進捗状況	評価基準
a	当該年度実施計画の80%以上の実績がある場合
b	当該年度実施計画の50%の実績がある場合
c	当該年度実施計画の実績は少ないが実施した場合
d	実績なし



参考

《取り組みの進捗状況 評価表》（抜粋）

栄養・食生活【領域】

早寝・早起き・朝ごはんで規則正しい食生活の普及【取り組みの方針】

【目標】朝食の欠食率の改善

担当課	事業名	実施種別	事業の対象	対象世代 (ライフステージ) ※当てはまるものに○	事業内容	実績	評価	効果等 (所感)	課題
健康増進課	乳幼児健診 (1歳6か月児、3歳児)	継続	乳幼児健診参加者	乳幼児期(0～6歳)	朝食摂取の重要性と生活リズムの関係について、栄養相談時に説明する。	1歳6か月児: 12回○○○○名 3歳児:12回○○○○名	a	朝食を食べている幼児はほとんどだが、バランスを意識している人は少ない。	バランスのとれた朝食メニューなどの資料作成が必要
				○					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					
				乳幼児期(0～6歳)					
				児童・思春期(7～19歳)					
				青年・壮年期(20～64歳)					
				高齢期(65歳以上)					

予定期数12回で、実施回数12回のため、実績80%以上として「a」とする

